

対策 番号	課題・指摘事項	対応方針、及び検討課題	進捗状況	スケジュール						
				10月	11月	12月	平成25年度 1月 2月		3月	平成26年度以降
1	点検・パトロール的的確な実施(小さな漏えいが判明できるように、しっかりデータをとって傾向をみること)	・測定技術向上、データ管理充実(定点観測による傾向管理) ・雨水の排出基準を明確化して早期に排出する運用とする(出来るだけ堰内のドライ状態を維持)	・運用中	▼ 運用開始						
			・運用中	▼ 運用開始						
	水位計の設置等による常時監視(11月までに実施予定)	・フランジ型タンク全数への水位計の設置	・施工中	フランジ型タンク水位設置 ▼ 11月末【工事完了】						
		・鋼製円筒タンク(溶接型)への水位計の設置	・施工準備中	鋼製円筒タンク(溶接型)への水位計設置 ▼ H26. 2月【工事完了】						
	β線測定装置の調達計画の作成	・計画的な調達実施(30台確保予定)	・調達実施中	分割納入開始(H25.12月中旬より10台〜) 校正が完了したものをから順次納入 ▼ H26. 2月末【納入完了】						
タンク対策 4	タンクの堰や基礎部のコンクリート化、かさ上げ、堰の設置(現状、堰のないHICを含めて) ※HICはNo.15へ	・堰の設置されていない箇所の堰設置 ・堰の嵩上げ ・各エリアに設置されているタンク基数に応じた堰の高さ・容量の検討 ・堰設置における工期短縮(プレキャスト工法等)の検討	・施工中(SPT受入水タンク・RO濃縮水受タンク・RO処理水受タンク)	SPT受入水タンク・RO濃縮水受タンク・RO処理水受タンク(堰設置) ▼ 12月【工事完了】 蒸留水タンク(堰設置) ▼ H26. 3月【工事完了】 廃液供給タンク・濃縮水受タンク・濃縮処理水受タンク(コンクリート堰化) ▼ H26. 3月【工事完了】						
			・鋼材による嵩上げ ・コンクリート等による更なる嵩上げ検討中	鋼材による堰の嵩上げ ▼ 12月【工事完了】 机上検討(堰の高さ・容量・工法、タコ運用) コンクリート等による更なる堰の嵩上げ ▼ H26. 3月目標【工事完了】						
	・堰と土堰境間の難透水性(コンクリート化など)	・施工準備中	土堰境設置 ▼ H26. 3月目標【工事完了】 土堰境内浸透防止工							
	・堰と土堰境の二重化が出来ていない箇所の土堰境設置及び堰と土堰境間の難透水性(横置きタンクエリアを除く)		<No.4「堰と土堰境間の難透水性(コンクリート化など)」に依る>							
6	溶接型タンクのリプレース計画の早期策定(次回会合までに策定・報告)とフランジ型タンクの再検証	・フランジ型タンクのリプレース方針を策定(タンクの新増設及び汚染水の移送・処理方針を含む)	・第2回会議報告済み	▼ 方針策定						
		・漏えいタンクの原因究明結果にもとづき、フランジ型タンクの運用計画(監視・貯蔵)を策定(漏えいしたH4タンクのコンクリート基礎部の調査、他のフランジ型タンクにおけるH4タンクとの共通要因の有無を確認)	・補修工法検討中	原因究明 ▼ 11月上旬【原因究明完了】 他タンクの確認、補修工法の検討						
		・様々なケース(地下水バypass稼働、サブドレン稼働等)を想定したリプレース計画への影響評価	・規制庁へタンク増設計画の半期報告実施済み	保有水計画検討 ▼ 規制庁報告						
		・タンクの水抜き優先順位の詳細化 ・リプレースされたタンクの廃棄物の処理方針	・方針検討中	水抜き優先順位検討 ▼ 11月【方針策定】 処理方針検討 ▼ 11月【方針策定】						
7	横置きタンクの漏えい防止、漏えい拡大防止	・優先的に円筒タンクにリプレースする		<No.6「溶接型タンクのリプレース計画の早期策定(次回会合までに策定・報告)とフランジ型タンクの再検証」に依る>						
循環ライン信頼性向上対策 8	降雨等による斜面のすべりに伴う汚染水の移送配管の損傷への対応	・SPTから35m壁への配管の新規追加ルートを設置	・施工計画検討中	工事検討 配管新規追加ルート設置工事 ▼ H26. 1月下旬目標【工事完了】						
		・SPT(A)をバッファタンクとして使用する循環ループ構成とし、HTI建屋及びプロセス建屋を徐々にループから外す ・SARRY/KURIONでの水処理後の戻りライン(HTI建屋及びプロセス建屋)を設置し、水処理能力余裕分での滞留水の浄化を図る(集中ラドへ戻すラインの設置については再検討) ・SARRY/KURIONでの水処理後の戻りライン(タービン建屋等)を設置し、水処理能力余裕分での滞留水の浄化を図る。なお、当該ラインは建屋内循環(H26年度末)での活用も視野に入れ、検討を行う。また、海水トレンチの浄化に使用する浄化装置を、海水トレンチ隔離後、タービン建屋の浄化に投入することも検討する ・SD 運用開始とともに建屋滞留水位を徐々に低下させていく	・システム設計検討中	循環システム設計 ▼ H26. 3月【設計完了】 調査・配管工事 ▼ H26年度上期【工事完了】 ▼ H26年度半ば【運用開始】						
				<No.15「地下水の流入を減らすための更なる対策」に依る>						

汚染水対策現地調整会議 課題に対する管理表

平成25年11月

対策 番号	課題・指摘事項	対応方針、及び検討課題	進捗状況	スケジュール							
				平成25年度							平成26年度以降
				10月	11月	12月	1月	2月	3月		
自然災害 対策	10 台風、ゲリラ豪雨、竜巻等へのリスクの対応	・台風・竜巻対策：飛来物によるタンク損壊を防止するため仮設設備の固縛、機材・車両をタンク近傍に置かないことを徹底する	・実施中	実施中							
		・豪雨対策：堰内雨水が汚染している場合に備えて4,000トンノッチタンクへの移送ライン、さらにはT/Bへの移送ラインを順次整備	・Hエリアから4,000トンノッチタンクへの移送ライン設置完了 ・2・3号機T/Bへの移送ライン設置完了	4,000トンノッチタンク移送ライン設置 ▼10月初旬【Hエリア工事完了】 Gエリアについては状況を見ながら設置 T/B移送ライン設置 ▼10月【工事完了】							
		・豪雨対策：堰内コンクリート面の清掃・塗装により雨水の汚染を防止	・実施中(汚染しているエリアから順次)	堰内床面塗装					▽H26.1月【作業完了】		
		・豪雨対策：堰の嵩上げ		<汚染しているエリアから順次【工事開始】(堰の嵩上げはNo.4参照)>							
		・豪雨対策：タンクへの雨どい設置(雨どい水の汚染のないことの確認)	・雨水抑制対策検討中	雨水抑制対策検討	制作・準備作業						
		・雷対策について再評価(汚染水漏えい防止の観点から)	・方針策定済み	方針検討							
11	アウターライズ津波を超える津波リスクへの対応(堤防の設置の検討)	・現行津波対策計画(建屋床開口部閉鎖)で汚染水が流出しないことを再確認する	・1・2号機T/B施工中	防水化対策(T/B・C/B)							H26年度上期【HTI建屋完了】▽ H26年度下期【プロセス主建屋・サイトバンカ建屋完了】▽
		・汚染水の浄化		<No.9「原子炉建屋、タービン建屋の下に滞留している高濃度汚染水への対応(汚染水の量の低減、汚染水の濃度の低減等)」に依る>							H26年度上期【1・2号機完了】▽ H26年度下期【3・4号機完了】▽
											H26年度上期【1・4号機完了】▽ H26年度下期【2・3号機完了】▽
漏えい 防止対策	12	1号機取水口北側エリア(観測孔0-1があるエリア)における水ガラスによる土壌改良の検討	・0-1の高トリチウムの原因調査の目的で観測孔3箇所(5本)を追加。原因に応じ、トリチウム拡散を抑制する地盤改良の範囲を検討	・0-4掘削・サンプリング実施 ・0-1-2掘削中	追加孔掘削 ▼12月上旬【掘削完了】 ▼サンプリング開始(掘削後、順次サンプリングを実施)						
	13	海への汚染水流出リスクを低減するための側溝の対策	・Bラインの暗渠化	・施工計画検討中	排水路暗渠化材料、ゲート製作 排水路清掃・補修、排水路内のケーブル移設 排水路暗渠化・ゲート設置・排水路仮閉塞(枝排水路は埋二重化および排水路付替完成以降に復旧予定)						
		・連続監視モニタ設置 ・港湾側へ導ける排水路の設置	・モニタ設置工事中 ・排水路設置検討中	連続監視モニタ設置工事 ▼11月【工事完了】 排水路設置検討 排水路設置							▽H26.3月【設置完了】
	14	HICの運用	・HIC貯蔵施設は、できるだけ堰内をドライ状態に維持する考え方で、運用計画を明確化する ・HIC長期保管を考慮した検討(HICの経年劣化等)	・運用中(運用計画を規制当局に説明予定) ・運用中(「使用済吸着塔保管施設運用手順書」にて保管時の確認方法を反映済み)	▼10月【運用開始】 実施中						
15	地下水の流入を減らすための更なる対策	・HTIトレンチの止水、1号T/Bケーブルトレンチ止水	・施工計画検討中	止水対策工事(HTI建屋) 止水対策工事(1号機T/B)							▽H26.3月【工事完了】 ▽H26.3月【工事完了】
		・サブドレン復旧・稼働(浄化装置)	・サブドレン浄化装置製作中	新設ピット掘削 既設ピット浮遊物質除去 既設設備撤去、ポンプ及び配管等設置 中継・集水タンク 基礎、タンク設置 浄化装置及び建屋設置							▽H26.6月【工事完了】 ▽H26.5月【工事完了】 ▽H26.9月【工事完了】 ▽H26.9月【工事完了】 ▽H26.9月【工事完了】
		16	海側遮水壁の構築	・海側遮水壁の早期竣工の検討	・工事工程検討中	海側遮水壁設置工事					
17	凍土壁が十分に機能しなかった場合の対応	・資源エネルギー庁「凍土方式による遮水技術に関するフィージビリティ・スタディ事業(実証試験)」がH26年3月に終了するので、その結果を参考に現地の凍土壁の造成に関する補助工法の有無も含めて計画をまとめる	・現地試験準備中	フィージビリティ・スタディ(FS)						▽H26.3月【FS結果反映】	